

2021年7月14日

フランスにおける責任ある観光 5万人近い一般市民の皆様から具体的行動案をいただきました！



観光産業はコロナ禍で最も深刻な影響を受けた業種のひとつでしたが、フランスの国内総生産の7.5%を占め、200万人の雇用を有する観光産業の再スタートは、コロナ後の経済復興の鍵を握っています。経済活動の再開は、フランスの観光事業者たちに現在の社会の諸問題を認識させる機会ともならなければいけません。とりわけ持続可能性や責任といった問題に配慮することは、ますます人気の高まる観光目的地としてのフランスを、まさにこうした問題に取り組む観光地として位置づけることにつながります。そのためにこのほどフランスの観光事業者の集団がヨーロッパ・外務省の支援を受けてフランスにおける責任ある観光に関する一般市民からの提言を募集することになりました。

意見聴取は2021年5月10日から6月20日までオンラインで実施され、5万人近い参加者を集める大成功を収めました。こうして得られた1800に上る提言は、今後フランス各地、そして全国的な観光戦略と具体的なアクションに活用されます。ここから引き出された結論は、とりわけ大統領が夏のバカンスシーズン明けに発表する観光回復計画の策定に役立てられる見込みです。

「フランスでより責任ある観光を実施するにはどのような取り組みが必要か？」との質問にフランス国内と世界各国から**49,432人**が1ヶ月以上にわたってMake.orgのプラットフォームを通して答えてくれました。結果、1,830の提言と、選択式設問への回答**33万4400件**が寄せられました。そしてここから「より責任ある、より持続的な観光」のための10の基本アイデアが浮上しました。たとえば汚染を生じない交通手段の開発、ゴミとの戦い、地元の産品や自然文化遺産の活用、地域的な偏りなくバランスの取れた観光、幼児期からの「より責任ある観光」に関する教育などです。

ここで得られた結論は、ジャン＝バティスト・ルモワヌ観光担当副大臣が委員長を務め、主要な観光事業者で構成される観光セクター委員会(Comité de filière tourisme)において引き続き検討されます。同委員会のメンバーにはフランス観光開発機構(Atout France)、アウトドア宿泊施設全国協議会(Fédération Nationale de Hôtellerie de Plein Air)、地域投資銀行(Banque des territoires)、ADNツーリズム(ADN tourisme)、持続可能な観光事業者協会(Acteurs du tourisme durable)、テラジール(Teragir)があり、ヨーロッパ・外務省の支援を得て活動しています。またパートナー機関・団体としては以下があります。アリアンス・フランス・ツーリズム(Alliance France tourisme)、責任ある観光のための行動ネットワーク(réseau Agir pour un tourisme responsable)、旅行関連企業組合(syndicat des Entreprises du voyages)、ユトピア(Huttopia)、公正連帯観光協会(Association pour un tourisme équitable et solidaire)。

今回の意見聴取で得られた提言は、委員会メンバーの観光事業者が全国的に、また各地域においてすでに実施している多くのアクションをより強固なものにしてくれるでしょう。

ヨーロッパ・外務大臣付観光・在外フランス人・フランコフォニー担当副大臣であるジャン＝バティスト・ルモワヌは以下のように宣言しています。

「我々が主要観光事業者らと実施した意見聴取には5万人近い方々の参加を得ました。この成功は観光事業者各位の熱意を示すと同時に、観光産業の健全な発展モデルがいかに望まれているかを示すものです。ここに表明された多くの回答や提言は、フランスおよび主要各国の観光客の皆さんの期待と具体的テコ入れ策を浮き彫りにしており、今回のイニシアティブは大変学ぶところの多いものでした。こうした知恵の結集から国を挙げての回復戦略への橋渡しを我々は確実に行わなくてはなりません」

なお、参加者49,432人のうち、フランス国内からの参加者は44,031人(89%)、国外からは5,401人(11%)、国外からの参加者の国別内訳では日本からが1,424人で最も多く、続いてアメリカ1,338人、カナダ910人との結果になりました。

賛同が得られた提言の一例:

持続可能な交通手段の開発と運用について

《あらゆる種類の自転車の列車による運搬を容易にするべき。(普通自転車、電動自転車、カーゴバイク、荷台付き自転車など)》 サンドリーヌ Sandrine

企業・観光客に地元産品の活用を促すことについて

《観光客の滞在時には、サプライチェーンの短い商品の消費を優遇するべき。》 ミナ Mina

観光地や自然地域におけるゴミの増加との戦いについて

《ビーチや森林などの場所におけるゴミとの戦い(意識改革、監視、ゴミ拾いなど)はより優先的な事項とするべき。》 ロリアーヌ Lauriane

国土の地域間における均衡のとれた観光活動について

《フランス人も外国人も、国土内の今日あまり人が行かない場所に行きたい気持ちにさせることが必要。》 アスマ Asma

観光によって生じるゴミの管理体制改善と活用について

《各地の観光事業体に解説付き分別ゴミ袋を用意させて、バカンス中により習慣を身につけてもらう。》 フレデリック Frédérique

観光地のコンクリート化の制限と自然地域の再評価について

《新規の観光開発は注意深く監視し、守るべき自然の生態系をこれ以上危機にさらさないこと。》
レ・ザヴァンテュリヌ Les Aventurines

包装用品とプラスチックの生産・消費の制限について

《食品の必要以上の包装(特にプラスチック)を減らすべき。》 ダミアン Damien

地元の文化自然遺産や住民と結びついた周辺地域の観光開発について

《観光を最早必要悪のようには見なさず、地元との絆を再発見する真のチャンスと見なすべき。》
ヨハン Johann

幼児期からの「責任ある観光」教育について

《子どもたちにごく幼いうちから動植物や環境を大切にすることを教える。そのためには最大限の実地

見学をさせる。》ジャン＝ピエール Jean-Pierre

責任ある観光の実践事業者の明示、支援、強調について

《規制を遵守し革新的な観光開発を目指す民間プロジェクトに寄り添い具体的な支援をするべき。》
オード Aude

意見聴取の結果はここでご覧いただけます。

tourismeresponsable.make.org (FR)
<https://about.make.org/sustainable-tourisme-results> (EN)

より責任ある観光を目指す参加パートナー一覧



- フランス観光開発機構 公式ウェブサイト : <https://jp.france.fr/ja>
- 当リリースの関連ハッシュタグ #France #SustainableTourism #ExploreFrance
- 当リリースに使用したメインビジュアル（報道関係者向け） : <https://bit.ly/3bhA1PV>

【別添】

関係組織

フランス観光開発機構 Atout France

フランス観光開発機構（Atout France）は、国際的な観光デスティネーションとしてのフランスの位置づけを強化する役割を担っています。地域の開発戦略を支援し、フランスの観光サービスを活性化しその質を向上させるための投資プロジェクトの形成を支援します。フランス観光開発機構は、1,300のパートナー企業・団体に対して、観光需要を把握するためのツールを提供し、国際的なデスティネーションブランドに基づいたマーケティングやプロモーション活動を行うことで、彼らの国際的な展開を強化しています。また、旅行者に提供するサービスの質を保証するための認可制度（格付け、登録、認証）を担当しています。フランス観光開発機構は29か国32の事業所のネットワークを通じて、国際的なミッションを展開しています。

アウトドア宿泊施設全国協議会 (FNHPA)

キャンプ場経営者の代表的な職業組合です。キャンプ場はフランスの観光産業に欠かせない部門であり（年間売上30億ユーロ、施設数8,000、年間の利用者数2,200万人）、収容人数からみるとフランスの宿泊形態の中では最大規模を誇ります。

ADNツーリズムADN Tourisme

2020年3月11日に、歴史ある3つの観光事業者と観光機関（「フランス各地の観光局連合」、「観光と地域」、「地方デスティネーション」）を集めて誕生した組織。地域圏、都市圏、海外領土と3つの段階における観光機関（都市レベルの観光局、県観光局、地方観光局）をまとめ、全国で約1,100の組織と11,500人の従業員の力を結集しています。

持続可能な観光事業者（ATD）協会L'association ATD – Acteurs du Tourisme Durable

ATDは、責任あるツーリズムを目指す観光事業者たちの初のネットワークで、観光セクター全体を束ね、その実践の進化を支援するとともに、持続可能性の実現に向けたさまざまな活動を通じて関係者間の交流を促進することを目的としています。ATDは、観光業界のさまざまな業種からなる150人のメンバーで構成されています。

テラジールTeragir

Teragirは、国連が定めた17の持続可能な開発目標（SDGs）を達成するために、すべての関係者（学者や教師、企業、機関、個人など）の意識を高め、団結させることを目的とした教育的な団体です。フランスにおけるSDGsの運営者として、Teragirは、観光（ブルーフラッグ、グリーンキー）と青少年（エコ・エコール、国際森林デー、環境のための若い記者たち）の分野で一連のアクションプログラムを主導しています。